

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行

親会社株主に帰属する
90億円単体コア業務純益
120億円連結ROE
5.5%以上サステナブルファイナ
3,000億円

② 中長期の経営戦略

1. 預貸金・有価証券運用の強化

新営業支援システムCAFUを活用し、ライフイベント・事業イベントに適した提案力向上とデジタルアプローチを実践。りゅうぎんファンを増やし、安定的な預金調達と最適な運用で収益基盤を拡充。

3. グループ連携とアライアンス強化

2026年新本店ビル完成に向けグループ会社を集約し、人材交流と情報共有を活発化。県外地方銀行との連携で専門知見や先進事例を取り込み事業基盤を拡大。

2. 地域課題解決の先導

ESG経営で沖縄県の自然環境保護と持続的社会的実現に貢献。産官学金連携で脱炭素化推進、インキュベーション施設開設でスタートアップ支援、台湾進出支援等で沖縄の価値創造に挑戦。

4. 人的資本投資の増強と最適化

複線型人事制度や希望分野チャレンジ制度、外部派遣で視野広く主体的な人材輩出。行内全体のデジタル知見向上で人的余力を創出し新規事業領域に挑戦。

③ 対処すべき課題

① 世界経済の不確実性への対応

- ・ 米国関税政策による世界経済減速と国内経済成長ペース鈍化への注視
- ・ 沖縄県内では観光業への影響が懸念される

② 沖縄県経済の課題への対処

- ・ 人手不足やコスト上昇への対応
- ・ 観光需要を中心とした県内全体の業況維持

③ 金利環境の変化への対応

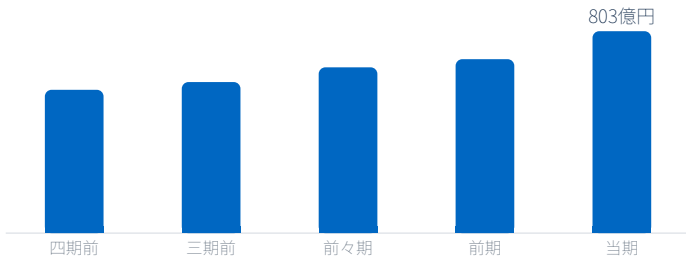
- ・ 日本銀行の金融政策正常化による『金利ある世界』への対応
- ・ 新中期経営計画『Empower 2025』での事業基盤強化

面接で使えるポイント

- ・ 沖縄県の成長ポテンシャルを捉え、地域経済の好循環実現に貢献できる金融グループを目指す
- ・ 2027年度までにサステナブルファイナンス3,000億円の実行で脱炭素化社会構築をけん引
- ・ 新本店ビル2026年完成を機にグループ連携強化し、県内スタートアップ創出を1.5倍に伸長させる

証券コード 8399

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
803億円営業利益率
－（未開示）財務健康度
11点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 45.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
640万円

銀行業内 64位/78社

平均年齢
39.0歳

銀行業内 70位/78社

平均勤続
15.0年

銀行業内 66位/78社

女性管理職
32.5%

銀行業内 1位/57社

男性育休
109.7%

銀行業内 12位/55社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 野村證券株式会社が株式会社琉球銀行<8399>株式の大量保有

